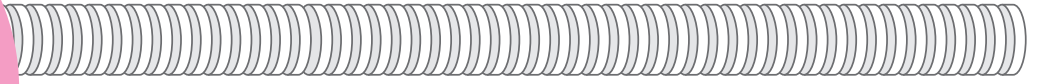


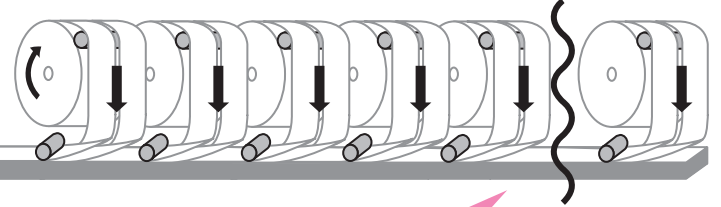
# イデボチの 紙づくり ボックス ティッシュ

150Wなら75巻、200Wなら100巻の原紙がスタンドに並びます



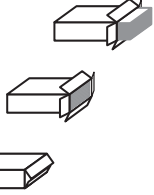
拡大すると

200枚の紙を順に重ねていきます  
\*200Wの場合



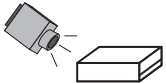
規定中にカットされます

紙束を箱に詰めます



3

カメラで色順や不良を  
チェックしていきます

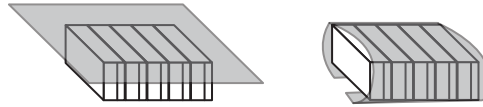


5個ずつセットされます



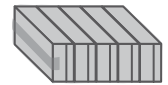
4

キャラメル方式で  
パッケージ包装されます



5

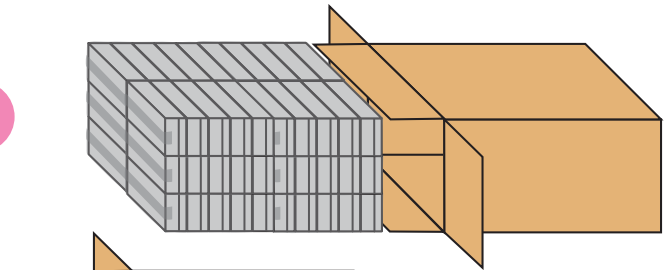
ボックスティッシュ完成♪  
帯状の持ち手を付ける



6

出来上がった製品を  
段ボール箱に入れていきます

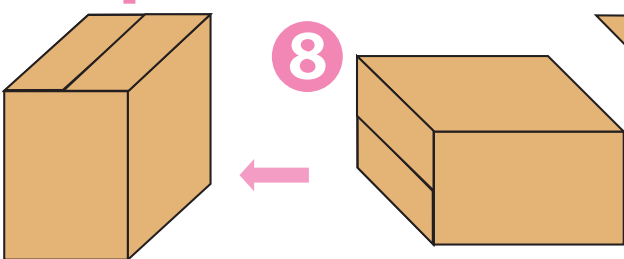
7



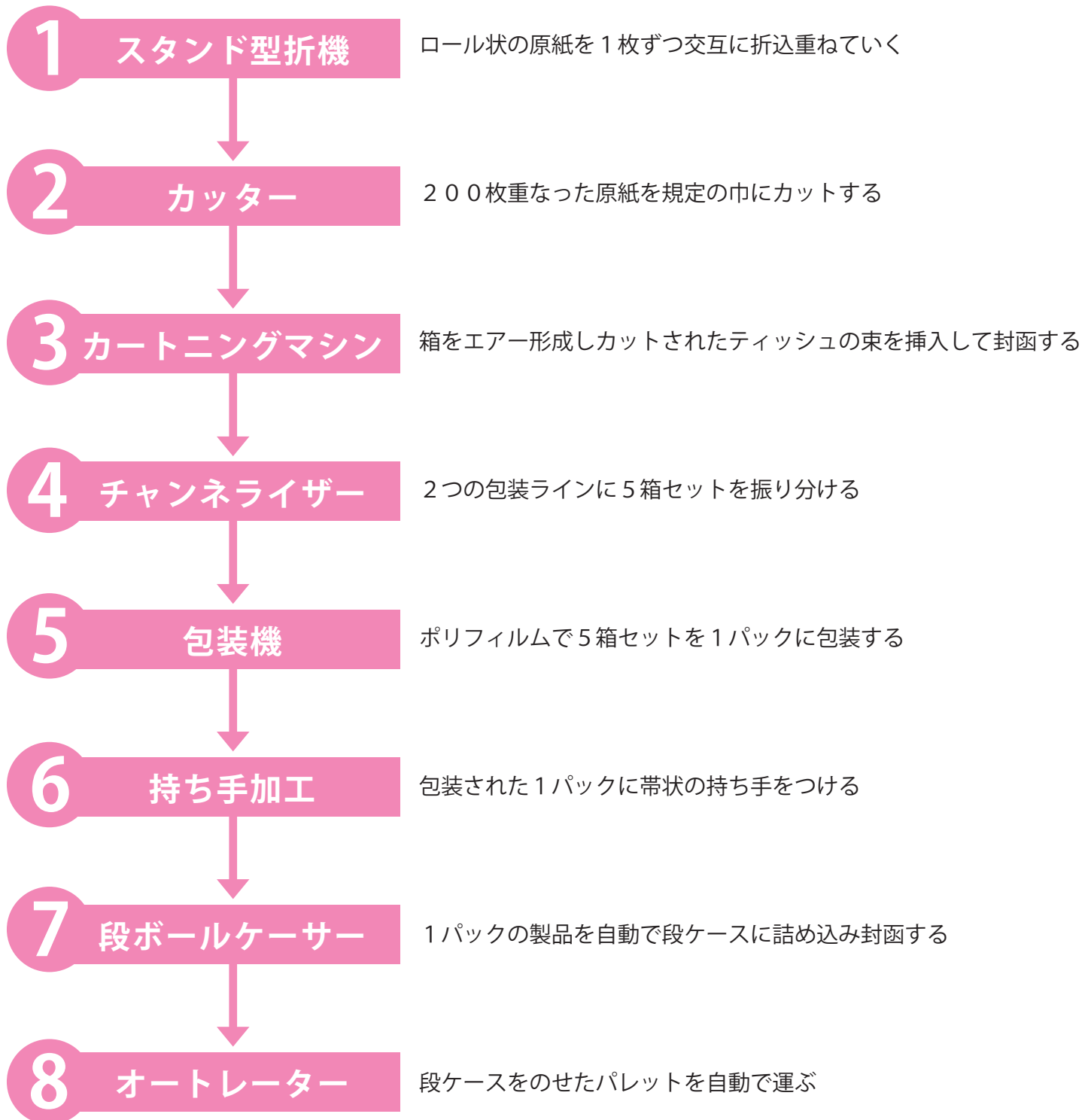
オートレーターで運ばれ、  
リフトでトラックに乗せ、出荷

8

ボックスティッシュの  
加工機はとーっても早い!  
1秒間にいくつもの箱を  
組み立てています



# ロール原紙からティッシュペーパーができるまでの加工工程



## ローションティッシュは…?

通常のティッシュペーパーと異なるインターホルダーと呼ばれる機械に2つの原紙ロールをセットし、紙の表面に保湿液を塗布しながら紙を重ねていく。重なった紙が交互に組み合わさりティッシュの束となる。その後はカートニングマシンで箱に挿入・封函され、パック商品の場合は包装機にかかり1パックになる。  
独自の“極上の潤い”保湿ティッシュや、ハイクオリティ原紙のプレミアムボックスティッシュが製造される。